

米国進出後、いかに米国人労働者を管理し、生産性を維持するのか？
この1冊があなたのすべての疑問に答え、悩みを解決、成功に導く、
今役立つ米国での人事労務管理の待望の福音書!!

10月下旬発売予定

予約購入受付開始!!

対米進出企業の 労務管理のすべて

(和英対照)

—採用から解雇まで—

著者 トーマス・J・ネビンズ
(労務管理コンサルタント)

発行 日本貿易振興会 (ジェトロ)

B5判 450頁(予定)

定価 9,800円 (下別)

あなたは知っていますか？

- 米国では求人時に、応募者の年齢、性、結婚歴、子供の数、使用言語、身長、体重、逮捕歴、目の色などを聞くことや、写真の提出を求めることが法律違反になることを。
- はっきりした理由を明示せずに、同種の作業にあたる女性労働者の給料に男性労働者のそれと差をつけることが問題となることを。
- 雇用時に差別をしないために、積極的雇用対策 (Affirmative Action) が義務づけられていますが、これは単に新聞広告に“当社は人種差別はいたしません”と広告するだけでは十分でないことを。

会社の規則として文章により、あなたの会社がマイノリティーを積極的に雇用し、訓練する方策をとり、これがすべての管理者層に徹底されていると均等雇用機会委員会 (EEOC-Equal Employment Opportunity Commission) が判断しないかぎり、政府により強制的に多額の経費と長い時間を要する積極的雇用対策 (Affirmative Action) のためのプログラムの実施を義務づけられることを。

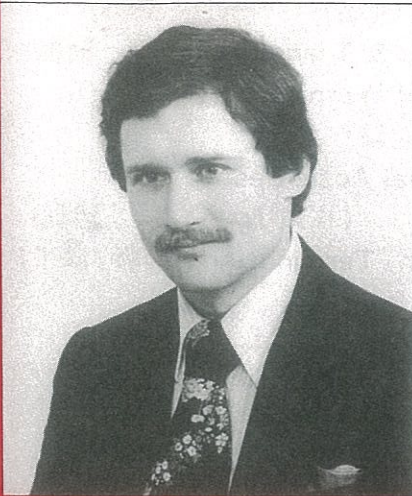
本書の特長

米国主要代表企業で現在使用されている就業規則を多数収集、分析し、関連100項目について、その法的背景や米国での慣習、解釈などを説明、一般企業でも応用できる万能モデルとして150の就業規則を和英で対照。

- 本書のモデルを自社の経営方針に照して選択、集大成し、検討を加えることにより、明文化された就業規則が完成される。このように経営者としての行動を自ら規定することにより、労働者に対し公平で矛盾のない労務政策を示し、労働者の苦情、不平、不満を解消することができる。また管理職を含め自分達に何が期待され、各々の状況でどのように対応すればよいかをわからせ、モラルの低下やモチベーションの不足をなくすることができる。
- 本書は米国の最近の動きである積極的雇用対策(Affirmative Action)、均等雇用機会委員会(EEOC-Equal Employment Opportunity Commission) 関連法規、労働安全衛生法(OSHA-Occupational Safety and Health Act) 関連法規、その他公平雇用、昇進および人種差別等に関連する法規や心身障害者の雇用を義務づける1973年社会復帰法(The Rehabilitation Act)に関する分野を網羅しており、これらの法律やこれにより設定された各種の基準を勘案することにより、無用な法律上のトラブルを避けることができる。
- 米国へ進出している、または、これから進出しようとする企業にとって、人事、労務管理問題のための弁護士やコンサルタントへの依存度を低下させ、経費と時間の節約を図ることができる。
- 現地企業での人事、労務管理の実態を把握することにより、現地企業と本社間の理解を深め、意志疎通をよくし、本社の企画、海外、統括、人事などの関連部門では進出企業の管理、運営を有機的に実施することができる。
- 就業規則の充実化は、従業員福祉のためのプログラムや、人事政策とその実際等についての労働者へのコミュニケーション手段としても利用できる。本書は、地方自治体、州、連邦の各ベースでの法律による義務と規制についても言及している。
- 本書は、人事、労務管理の定期的点検のためのチェック・リストとして活用できる。
- 本書は、人事担当部門にとって、従業員のカウンセリングや、新しい管理者の訓練のための有用な実践ガイドとして活用できる。特別な訓練のプログラムをこれら就業規則の中に折込むことができ、またこれにより古手の管理職に新風を吹き込むことができる。
- 管理職が完全無欠の明文化された就業規則(経営方針)を研究、理解すれば、自分達が行う決定が一貫した経営方針に裏付けられていることを知り、さらに自信が生まれ、責任を感じ、結果的に経営効率を高めることができる。
- 日本における外資系企業に働く日本人マネジャーにとって、代表的な米国企業の人事、労務政策の実態を知り、日本的慣習との調和をはかることができ、米国本社の理解を深めることができる。

著者紹介

トーマス・J・ネビンズ (テクニクス・イン・マネジメント・トランスファー社代表取締役)



1950年 米国ニューヨーク州ウエストチェスター生れ
 1970年 コーネル大学在学中、初来日、以来日本の労働関係の研究を続ける
 在学中、ホワイトハウス、労働省国際労務局スタッフ訓練生
 コーネル大学大学院アリス・クック教授に学ぶ
 1973年 コーネル大学派遣研究員として再来日
 日本労働協会研究生となる
 1978年 労使関係コンサルタント会社テクニクス・イン・マネジメント・トラ
 ンスファー (TMT) を設立、代表取締役となる
 1979年 ジェトロ、在日米国商工会議所 (ACCJ) 主催対米投資ミッシ
 ョンに参加
 Executive Search Int'l (ESI) 共同経営者
 在日米国商工会議所労務管理部会委員長
 日米財界人会議時に ACCJ 代表として出席・演説
 海外事業協力協会などのセミナーで講演
 ILO より日本労働協会が委託された労働生活改善に関する報告書
 外人向け「パスポート・ジャパン」などの著作翻訳活動を続ける

THE COMPLETE HANDBOOK OF
 U.S. PERSONNEL AND LABOR RELATIONS PRACTICES
 FOR JAPANESE CORPORATIONS

目 次

人事・労務管理主要100項目について150就業規則モデルと40のテーマ解説を掲載
 (以下の日本語訳には、変更がある場合があります。)

- | | |
|--|--|
| 1. Absence (欠勤) | 22. Drugs (麻薬、覚醒剤等) |
| 2. Affirmative Action (積極的雇用対策) | 23. Education & Training (教育および訓練) |
| 3. Attendance (出勤) | 24. Employee Handbook
(従業員ハンドブック) |
| 4. Benefits (手当) | 25. Employment Procedures & the Appli-
cation Form (採用手続および申込書) |
| 5. Bombings (爆発物) | 26. Equal Employment Opportunity
(均等雇用機会) |
| 6. Breaks (小休止) | 27. Fair Employment Practices
(公正雇用慣行) |
| 7. Bulletin Boards (掲示板) | 28. Fighting (けんか) |
| 8. Change of Address (住所変更) | 29. Fires (火災) |
| 9. Collective Bargaining (団体交渉) | 30. First Aid (応急手当) |
| 10. Company Newsletter
(ニュース・レター—社内報) | 31. Gambling (賭博) |
| 11. Company Rules (会社規則) | 32. Guards (守衛) |
| 12. Company Property (会社所有物) | 33. Gifts (贈答) |
| 13. Company Store (社内売店) | 34. Grievance (不平不満) |
| 14. Complaint Procedure (苦情処理手続) | 35. Handicapped (身体障害者) |
| 15. Cost Control (コスト管理) | 36. Hiring (採用) |
| 16. Courteous Behavior (社内における行動) | 37. Holidays (休日) |
| 17. Credit Union (相互扶助金) | 38. Hours (勤務時間) |
| 18. Demotions (降格) | 39. House Organ (ハウス・オーガン—社内報) |
| 19. Discipline (懲罰) | |
| 20. Dishonesty (不正行為) | |
| 21. Dress (服装) | |

- | | |
|--|--|
| 40. Identification (身分証明) | 71. Policy Changes (方針変更) |
| 41. Illness (病気) | 72. Probation (見習) |
| 42. Injuries-on-the Job (業務上の怪我) | 73. Promotions & Transfers (昇進、転属) |
| 43. Insubordination (反抗) | 74. Provision of Warning (警告の規定) |
| 44. Intoxication (酩酊) | 75. Records (記録) |
| 45. Job Bidding (新規ポストの募集) | 76. Recreational Activities
(リクリエーション活動) |
| 46. Job Change (職種の変更) | 77. Resignation / Termination (辞職 / 満了) |
| 47. Job Descriptions (勤務内容解説) | 78. Safety (安全) |
| 48. Job Evaluation (職務分担) | 79. Saving Energy (エネルギー節約) |
| 49. Job Ratings (職務給の格付け) | 80. Scheduling (スケジュール作成) |
| 50. Job Titles (肩書) | 81. Seniority Rights (年功者の権利) |
| 51. Keys (鍵) | 82. Smoking (喫煙) |
| 52. Leave of Absence (休職) | 83. Snow Emergency (大雪による緊急事態) |
| 53. Loafing (怠情) | 84. Solicitations (寄付懇請) |
| 54. Lockers (ロッカー) | 85. Suggestion Box (意見箱) |
| 55. Lost & Found (遺失物・取得物) | 86. Supervisor's Code (現場主任規範) |
| 56. Lunch (昼食) | 87. Tardiness (遅刻) |
| 57. Mandatory Retirement & Age
Discrimination (定年退職と年齢差別) | 88. Telephone (電話) |
| 58. Misrepresentation of Records
(前歴の不実表示) | 89. Temporary Employment (臨時採用) |
| 59. Moonlighting (社外の夜勤アルバイト) | 90. Theft (窃盗) |
| 60. Motor Vehicles (自動車) | 91. Threats (恐喝) |
| 61. New Employees (新規採用者) | 92. Time Cards (タイム・カード) |
| 62. Off-the-Job-Activities (勤務外活動) | 93. Transfers (転属) |
| 63. Orientation (オリエンテーション) | 94. Trial Period (試用期間) |
| 64. Overtime (超過勤務) | 95. Uniforms (制服) |
| 65. Package Inspection (梱包検査) | 96. Union Affiliation-Non Union Shop
(労組加入—ノンユニオン・ショップ) |
| 66. Passes (通行許可証) | 97. Vacations (休暇) |
| 67. Pension Plans (年金プラン) | 98. Vendors & Visitors (行商人と訪問者) |
| 68. Performance Ratings (勤務評定) | 99. Wages (賃金) |
| 69. Performance Review (勤務考課) | 100. Work Standards (作業基準) |
| 70. Private Telephone Calls (私用電話) | |

〈切り取り線〉

予 約 購 入 申 込 書 昭和 年 月 日

“対米進出企業の労務管理のすべて”を _____ 部購入したく申込みます。

● 会社名 _____

TEL _____

● 部課名 _____

● 申込者名 _____

⑩

● 住 所 _____

購入申込先: **日本貿易振興会**

東京: 出版課
大阪: 業務課

〒105 港区赤坂虎ノ門2-2-5 Tel 582-5511
〒541 大阪市東区備後町2-51 備後町野村ビル Tel 06-203-3601